

令和7年度

# わかりやすい予算書

犬山市

犬山市の令和7年度予算



# わかりやすい予算書

## 犬山市の令和7年度予算と主な事業

### 基礎知識

#### まずは、予算について知りましょう！ 1 ページ

- Q そもそも、予算って何ですか？
- Q 予算は、誰がどうやって決めるの？

### 令和7年度の予算

#### 令和7年度予算を見てみよう！ 2 ページ

- Q 令和7年度予算はいくらですか？
- Q 令和7年度の予算はどのような特徴がありますか？
  - となりの市・町を見てみよう！

#### 一般会計の歳入予算を見てみよう！ 4 ページ

- Q どんな収入がありますか？
- Q 市税は増えていますか？減っていますか？
  - 市税の内訳を見てみよう！

#### 一般会計の歳出予算を見てみよう！ 6 ページ

- Q どんな支出がありますか？
- Q 去年と比べて変わったのはどんな費用ですか？
  - 「性質」で分けてみた！

#### 市民1人当たりの予算 8 ページ

- Q 予算は、市民1人当たりになるとどれくらいですか？
  - となりの市・町を見てみよう！

#### 貯金と借金を見てみよう！ 9 ページ

- Q 貯金はいくらありますか？
- Q 貯金は、いつ何に使うの？
- Q 借金残高はどれくらいありますか？
- Q こんなにも借金があって大丈夫なの？
- Q なぜ借金するの？

### 令和7年度の事業

#### 令和7年度の主な事業 11 ページ

本書においては、表示単位未満を四捨五入していますので、合計が整合しない場合があります。  
なお、記載内容は令和7年3月時点のものであり、今後、各制度などが変更される場合があります。

## まずは、予算について知りましょう！

### Q そもそも、予算って何ですか？

#### A 1年間に必要なお金の『収入と支出の計画』のことです。

市では、防災対策や福祉、教育、ごみ処理、消防活動、道路整備、観光振興など、様々な行政サービスを提供しています。予算は、行政サービスを行うのに必要なお金の1年間の収支計画のことです。

### Q 予算は、誰がどうやって決めるの？

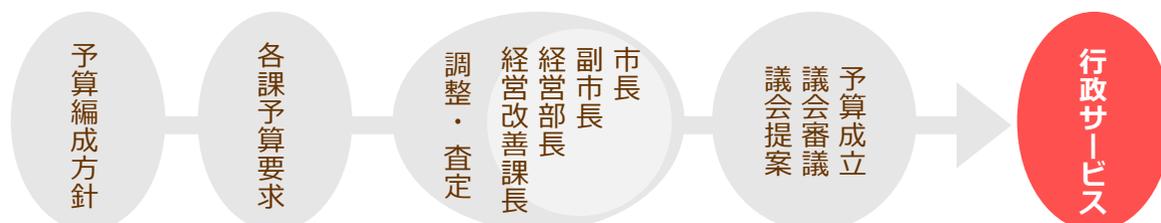
#### A 市長が予算編成方針を決め、それに基づき予算案を作ります。

#### その予算案を市議会で審議し、議決されると予算が決まります。

まず、市民の皆さんにより良い生活を送っていただくために何をしたら良いか、市長が「予算編成方針」を決めます。

次に、市民の皆さんが納める税金がどれくらいか、そのお金でどんな行政サービスを実施するか、段階を踏んで検討し、予算案ができます。

予算案は、市議会において審議され、議決をされると、予算が成立します。



調整・査定  
こんな視点で  
見えています！



いつ、なにを、どうやって実施するの？  
どれくらいの市民の役に立つの？  
もっと安くできる方法はない？

#### 経常的経費

継続して実施している  
行政サービスを維持するための経費

#### 金額の増減

今までと何か変わるの？  
過去の実績と比べて、過不足はない？  
もっと合理化や効率化はできない？

#### 政策的経費

新しく始める事業、  
大きく拡充する事業、  
市の方向性を左右する事業の経費

#### 緊急性・経済性・将来負担

すぐにやる必要があるの？  
実施するためのお金はあるの？  
将来的な負担はどうなるの？

## 令和7年度予算を見てみよう！

**Q 令和7年度予算はいくらですか？**

**A 総額513億6,320万円です。**

日常生活に身近な行政サービスを行う「一般会計」が60.3%と、全体の半分以上の割合を占めています。

### 企業会計

58億4,185万円 11.4%

民間企業のように、事業から得た収益で運営する会計



木曾川うかい事業費特別会計  
6,566万円

犬山城費特別会計  
3億2,480万円



### 特別会計

145億4,212万円 28.3%

国民健康保険税などの特定の収入があり、特定の目的を行う会計



総額  
513億6,320万円

### 一般会計

309億7,923万円 60.3%

市税などを財源に、福祉・教育・道路整備など市の基本的な行政サービスを行う会計

下水道事業会計  
40億3,165万円

水道事業会計  
18億1,020万円

後期高齢者医療特別会計  
18億4,418万円

介護保険特別会計  
56億3,905万円

国民健康保険特別会計  
66億6,843万円

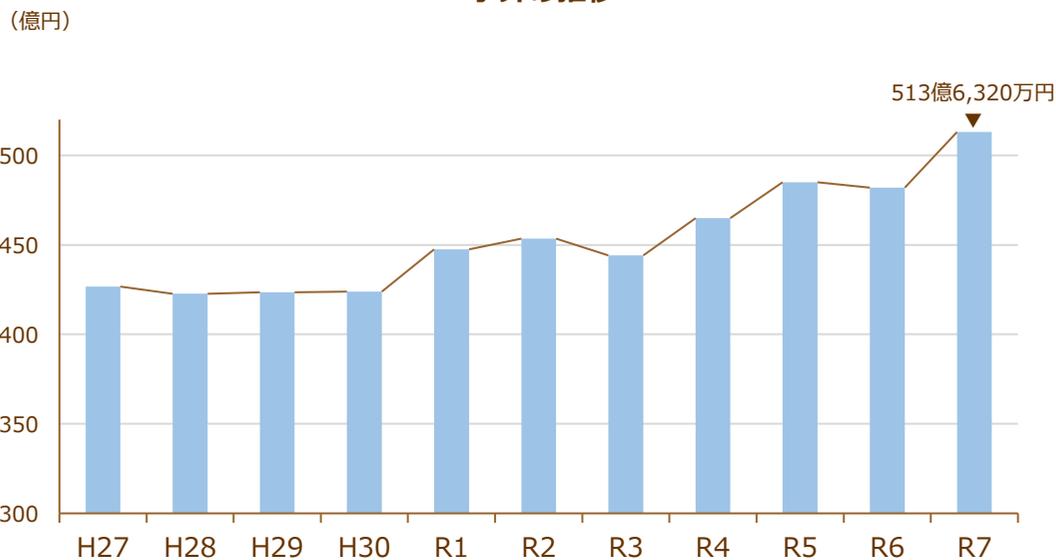
## Q 令和7年度の予算はどのような特徴がありますか？

### A 子育て支援のさらなる拡充、教育環境の向上、都市基盤整備などを推進する『住むまち いぬやまの魅力充実！予算』となっています。

令和7年度の予算は、自治体情報システムの標準化や児童手当の増額などで制度的に事業費が増額ほか、屋内型キッズスペースの整備や（仮称）新羽黒保育園整備などの政策的な事業費も増額となったことで、当初予算としては過去最高額となりました。

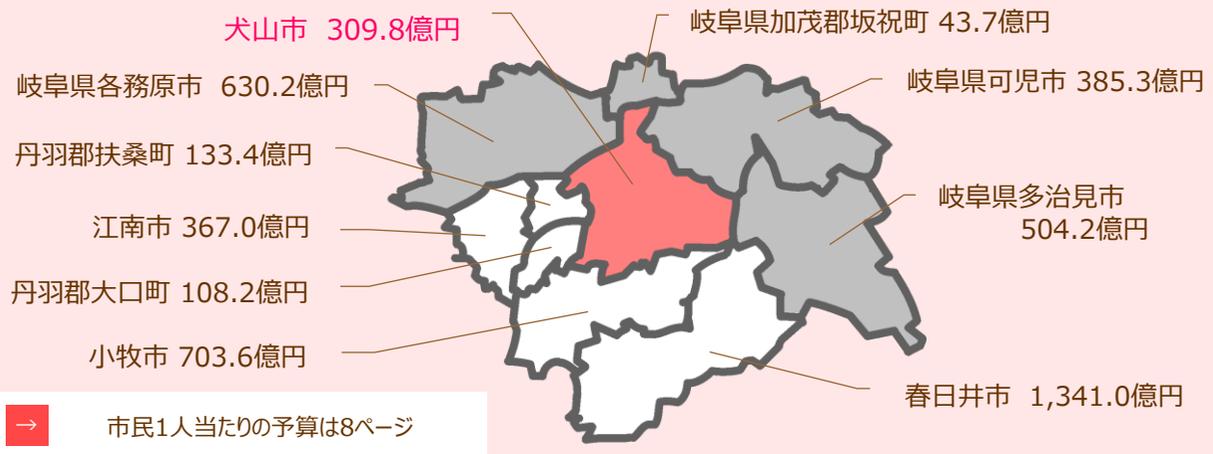
長期的に安定した財政運営を持続させ、突発的な自然災害などへの備えも必要であることから、財政調整基金残高の確保を意識しつつ、世代間負担の公平を保つため、積極的に市債を活用することで財源を確保し、社会保障費や人件費といった義務的経費の増加や、子育て支援の更なる拡充、教育環境の向上、都市基盤整備の推進のための予算を計上しました。

#### 予算の推移



## となりの市・町を見てみよう！

予算の金額や内容は、市や町の人口や面積、地理的条件などにより様々です。一般会計を比べてみました。

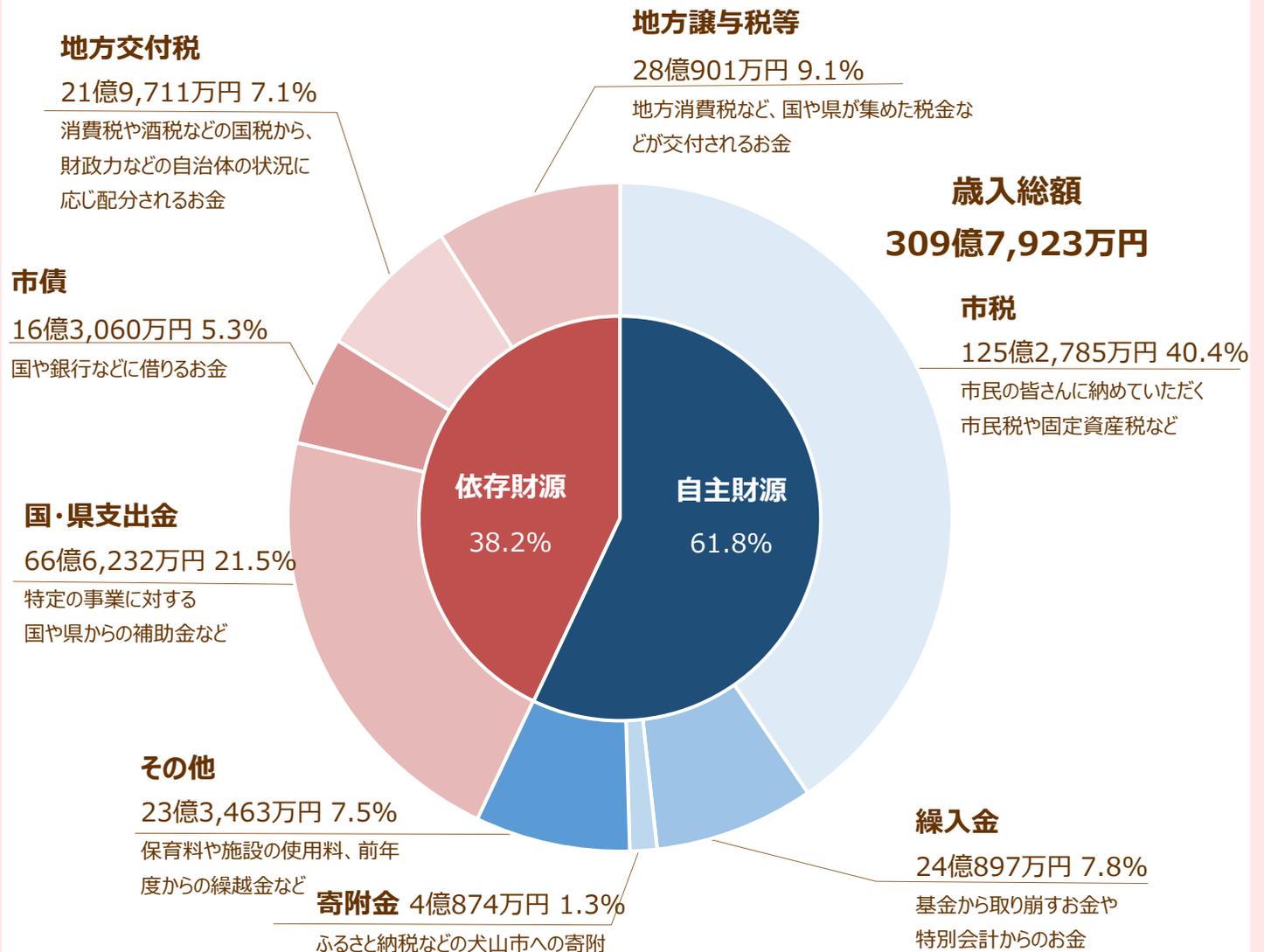


## 一般会計の歳入予算を見てみよう！

**Q** どんな収入がありますか？

**A** 最も多いのは皆さんに納めていただく【市税】です。

その他に、国や県からの補助など【国・県支出金】や、銀行などからの借入金である【市債】などがあります。



### 【自主財源】と【依存財源】

歳入は、市税など市が自主的に調達できる【自主財源】と、国や県が決定する【依存財源】に分けられます。

【自主財源】の割合が多いと、市が国や県に頼ることなく財政運営していると言えます。一方で、【依存財源】が多い場合も国や県の補助金をうまく活用できていることもあるため、一概に悪いとは言えません。

【依存財源】を活用しつつ、市独自の行政サービスなどを充実させるために【自主財源】を確保していくことが重要です。

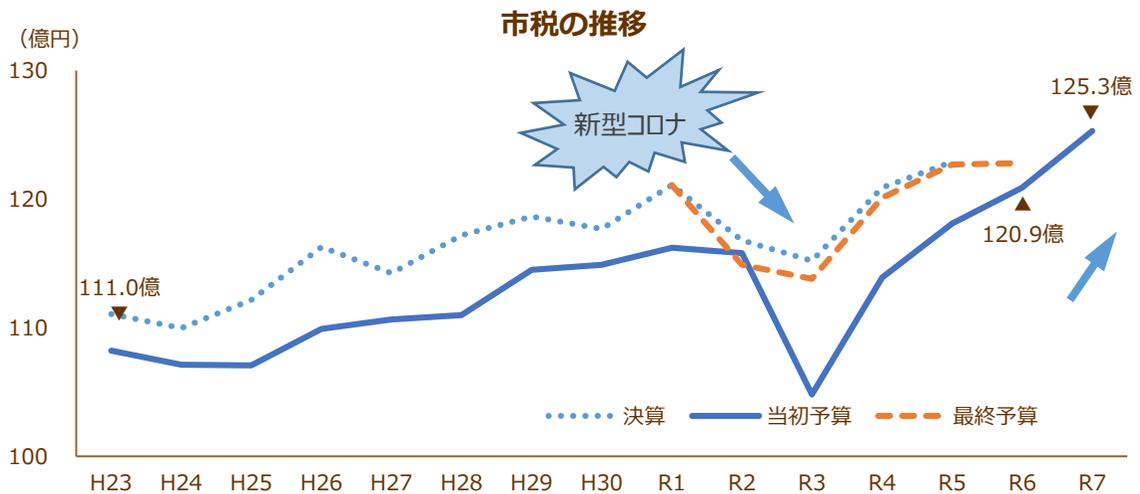


**Q 市税は増えていますか？減っていますか？**

**A 前年度に比べ予算は4億4,194万円増えています。**

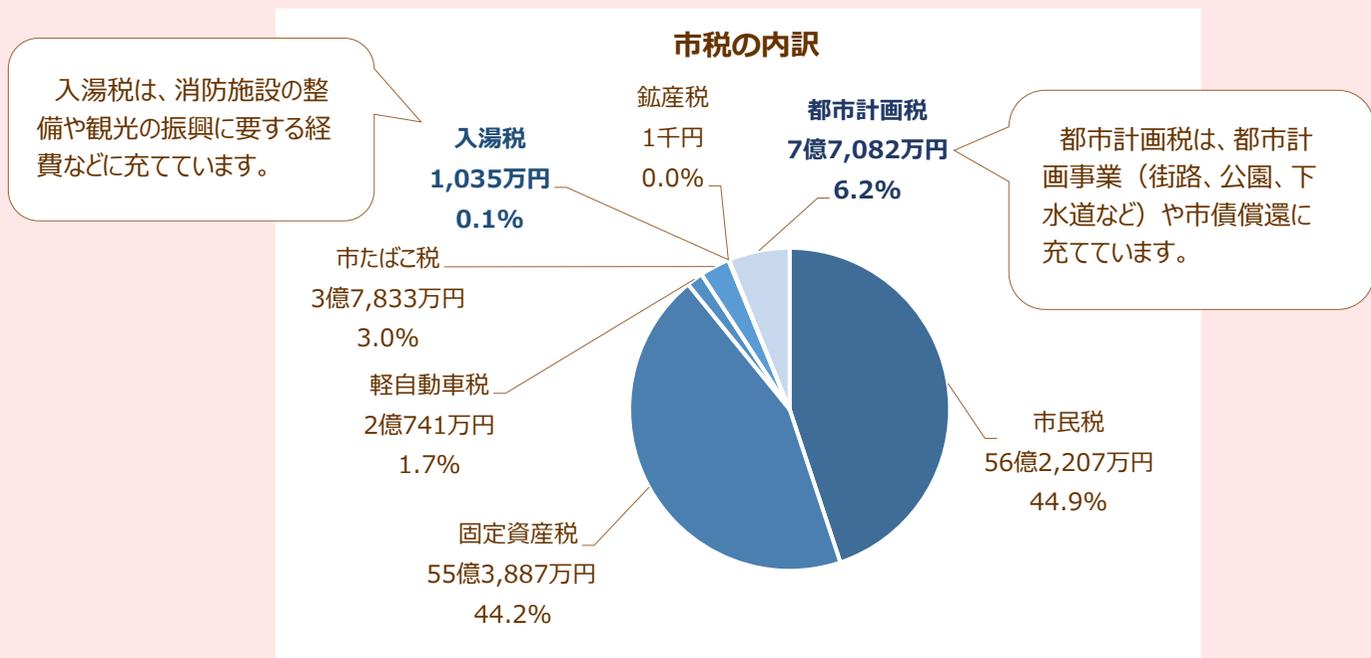
市民の皆さんに納めていただく個人市民税や固定資産税、法人市民税などの市税は、全体の約40%を占める歳入の柱であり、国や県に頼らない貴重な【自主財源】です。

市税収入は景気の影響を受け大きく変動してきました。令和6年度当初予算では令和5年度の収入状況をもとに120.9億円としましたが、最終予算額は122.8億円となり、令和7年度当初予算額では125.3億円を見込んでいます。



**市税の内訳を見よう！**

市税は、使い道が制限されておらず自由に使用できる【普通税】と、使い道が特定されている【目的税】があります。犬山市の予算では、【入湯税】と【都市計画税】が【目的税】です。

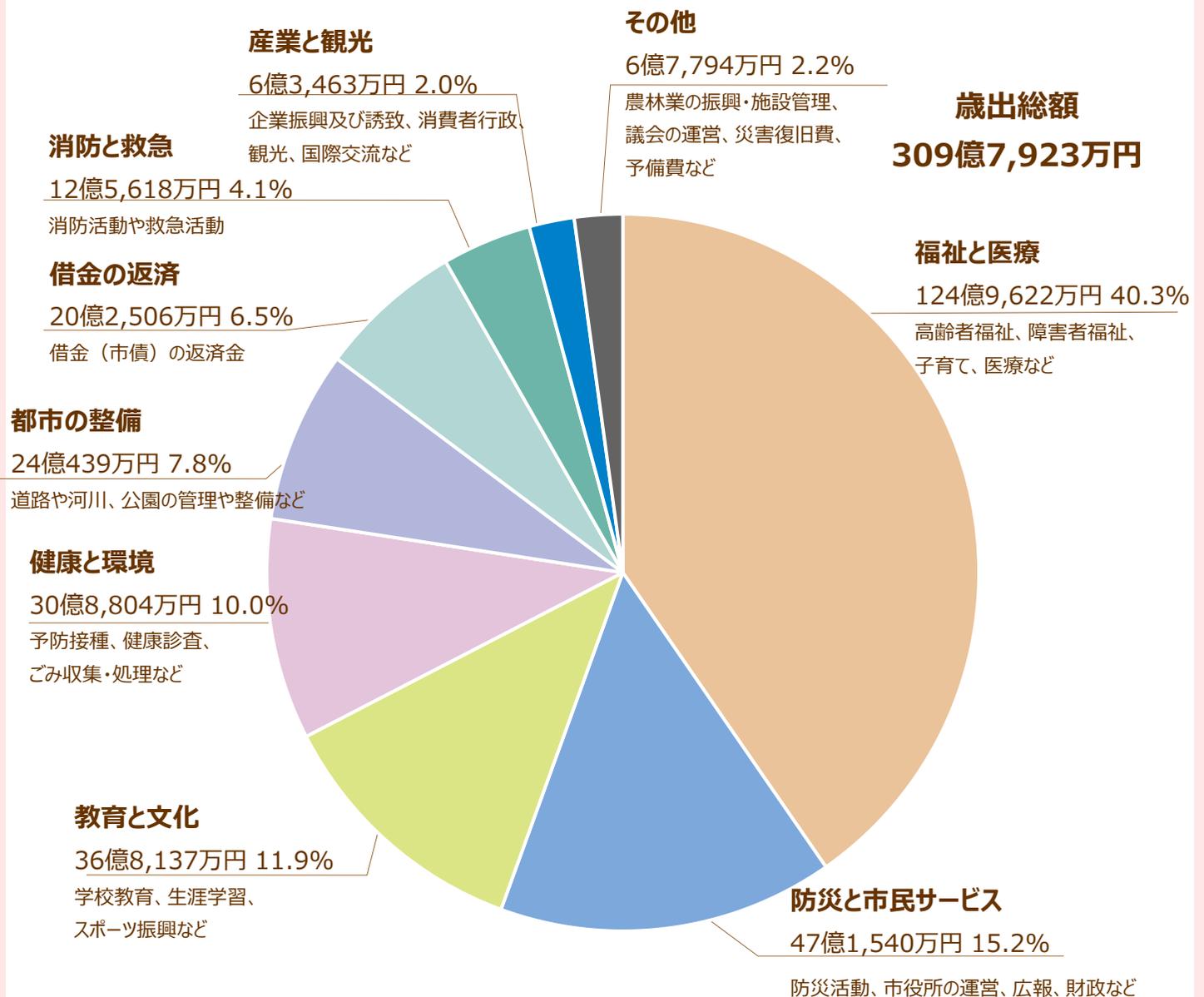


## 一般会計の歳出予算を見てみよう！

### Q どんな支出がありますか？

### A 最も多いのは、全体の4割近くを占める【福祉と医療】です。

【福祉と医療】は、福祉サービスや子どもの医療費無償化などの福祉施策の充実や高齢化などにより、大きな割合となっています。その他に、防災や市役所の運営などの【防災と市民サービス】、小中学校やスポーツ、文化財などの【教育や文化】などがあります。



市の歳出予算は、図のように目的に応じて区分されています。これは、市の予算がこういった目的に使われるか、だれでもわかるように決められているものです。

ここでは、予算書をよりわかりやすく解説するために、予算書では「民生費」となっているものを【福祉と医療】などに置き換えてみました。

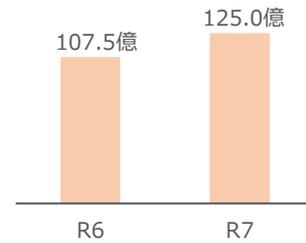


**Q 去年と比べて変わったのはどんな費用ですか？**

**A 【福祉と医療】、【防災と行政サービス】などは増加しましたが、【都市の整備】など減少した費用もあります。**

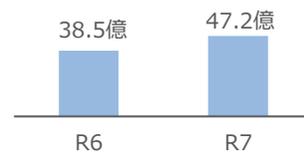
**福祉と医療**

福祉と医療は、児童手当の制度改正に伴う増額や障害者への支援、子ども医療費、子育て世帯応援特別給付金の増額などにより17億4,642万円増加しました。



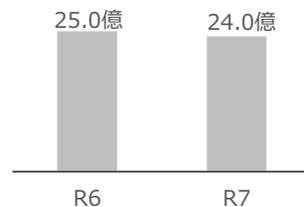
**防災と行政サービス**

防災と行政サービスは、ふるさと犬山応援寄附金（ふるさと納税）の減収が見込まれている一方で、国が主導する自治体情報システムの標準化に伴う経費、定額減税補正給付金、参議院議員通常選挙に伴う経費の増額などにより8億6,215万円増加しました。



**都市の整備**

都市の整備は、都市計画道路蝉屋長塚線道路整備、橋梁長寿命化工事などの経費が減額したことにより、9,261万円減少しました。



**「性質」で分けてみた！**

歳出予算は性質により3つに分けることができます。

【義務的経費】はその性質上、市の裁量では削減できない経費です。この割合が大きいと、道路や学校といった公共施設の整備、市民活動や各種団体などへの補助金にお金をまわすことが難しくなってしまいます。これを【財政の硬直化】といいます。

令和7年度は、制度改正に伴う職員手当の増加などによる人件費の増加、児童手当や障害者給付費などの扶助費の増加を反映し、義務的経費が約11.3億円増加、その割合も3.7ポイント上昇しました。

**義務的経費**

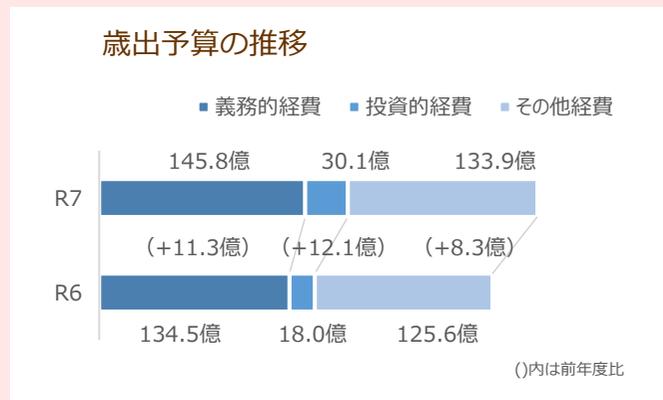
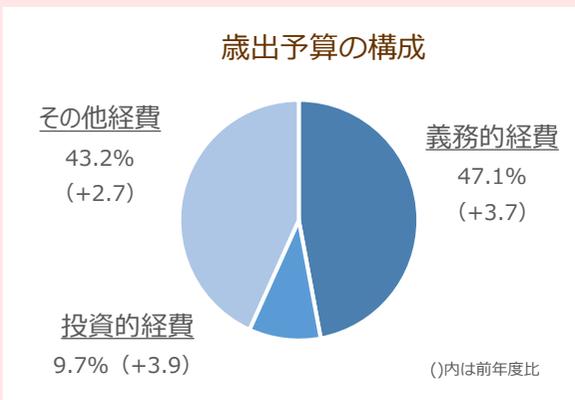
職員給与や福祉・医療費、市債の返済など、毎年必ず支出しなければならない経費

**投資的経費**

道路や学校などの公共施設を整備する経費

**その他の経費**

消耗品や備品の購入費、市民活動や各種団体への補助金など、義務的経費や投資的経費以外の経費



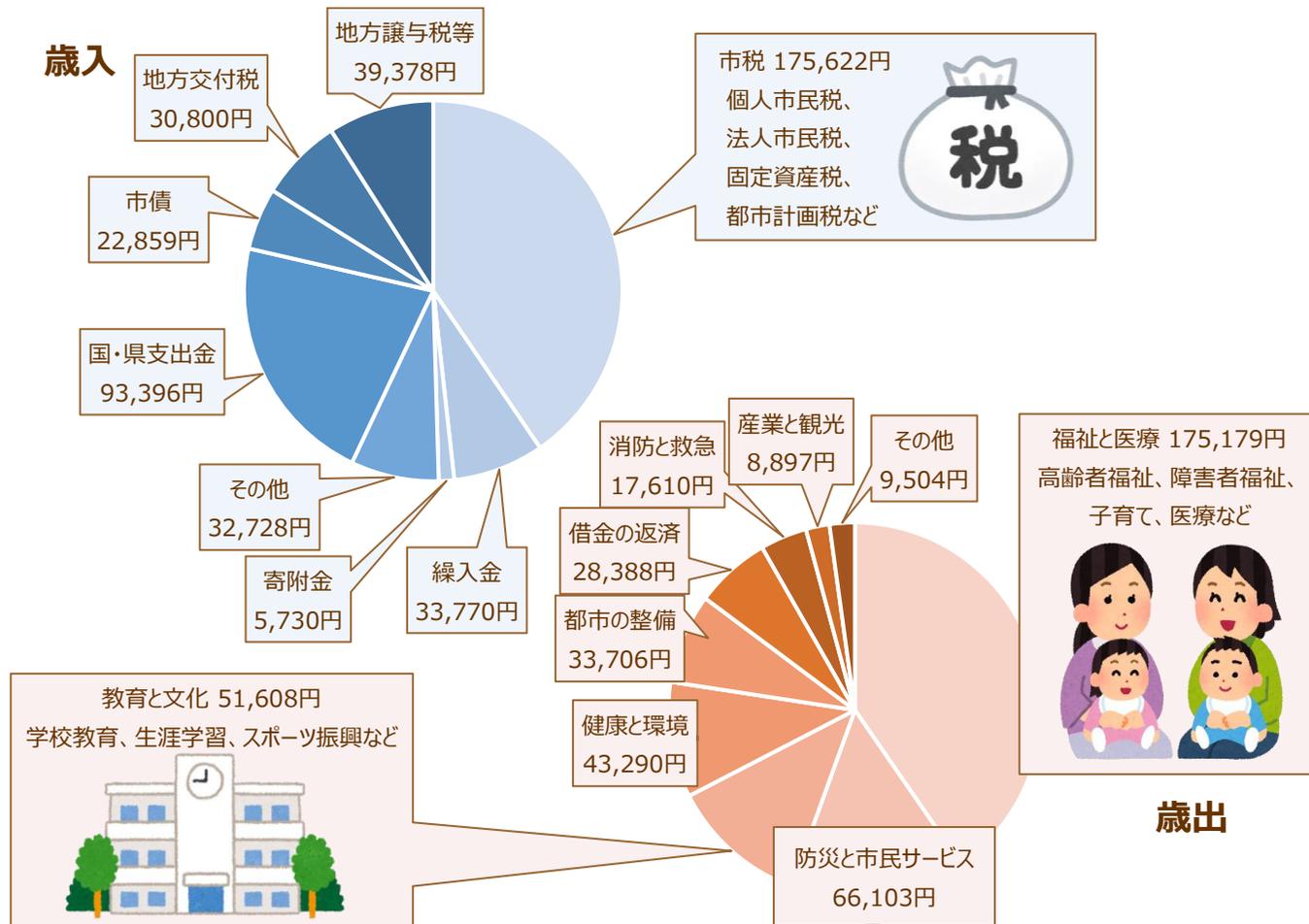
## 市民1人当たりの予算

**Q 予算は、市民1人当たりになるとどれくらいですか？**

**A 一般会計は1人当たり43万4,284円です。**

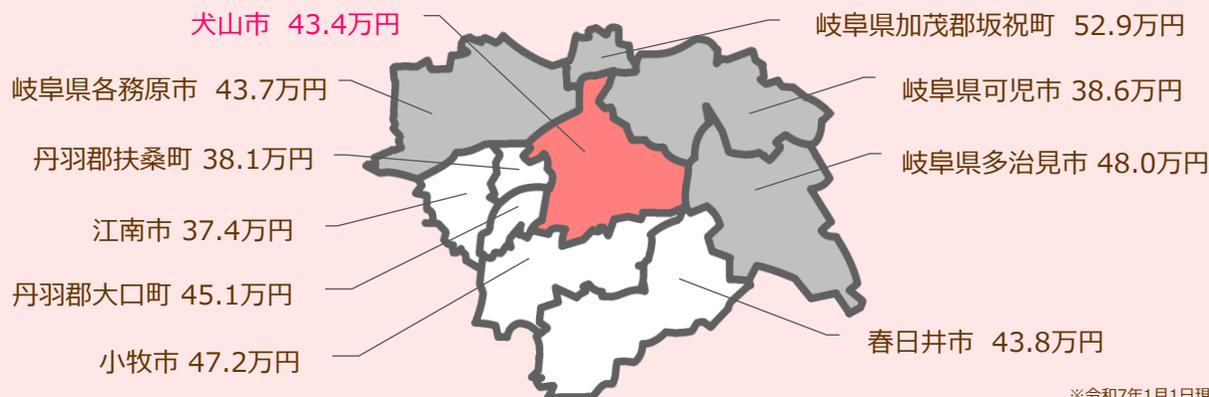
犬山市の人口は、令和7年1月1日現在で71,334人です。

令和7年度一般会計予算を市民1人当たり換算すると、43万4,284円となります。



### となりの市・町を見てみよう！

1人当たりの一般会計予算は約37~52万円で、犬山市はその平均くらいの金額です。



※令和7年1月1日現在人口で算出

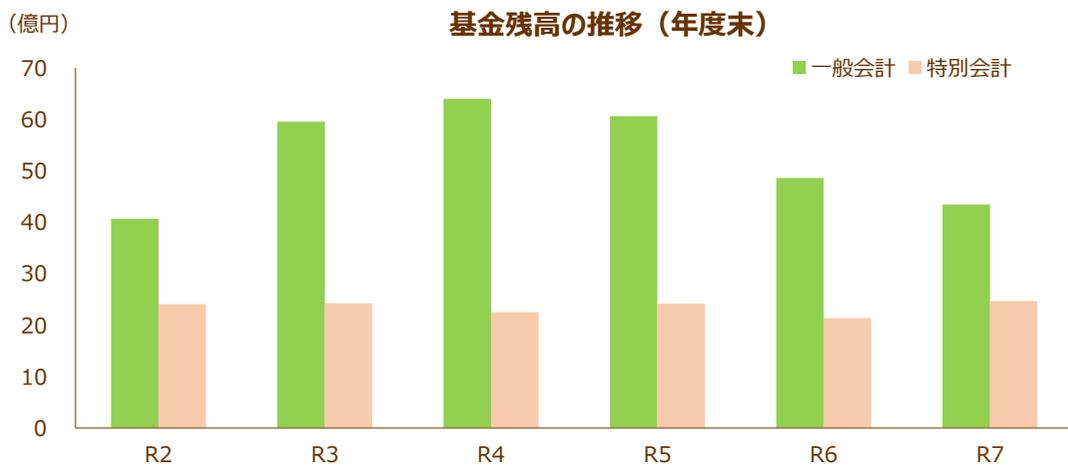
## 貯金と借金を見てみよう！

### Q 貯金はいくらありますか？

#### A 令和7年度末で68億1,976万円となる見込みです。

市には現在、一般会計に19、特別会計に3の貯金（基金）があります。

基金の令和7年度末の残高は、一般会計が合計で43億4,826万円、特別会計が24億7,150万円、総額68億1,976万円となる見込みです。



※企業会計（水道事業、下水道事業）に基金はありません。

※令和2年度～令和5年度は決算、令和6年度及び令和7年度は見込み額です。

### Q 貯金は、いつ何に使うの？

#### A 財源の補てんや施設の建設など、基金ごとに様々な目的があります。

一般会計の基金の一部を見てみましょう。

#### 財政調整基金

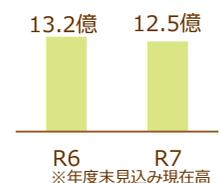
財政調整基金は決算の剰余金などを積み立てておき、財源が不足したときに補てんするために取り崩す貯金です。財政調整基金が不足すると景気の急激な変化や災害への対応が限られてしまいます。

犬山市の財政規模から15億円を目標にしています。令和7年度は財源不足の補てんのために15億4,154万円を取り崩す予定で、年度末の残高は13億879万円となる見込みです。



#### 広域ごみ処理施設整備基金

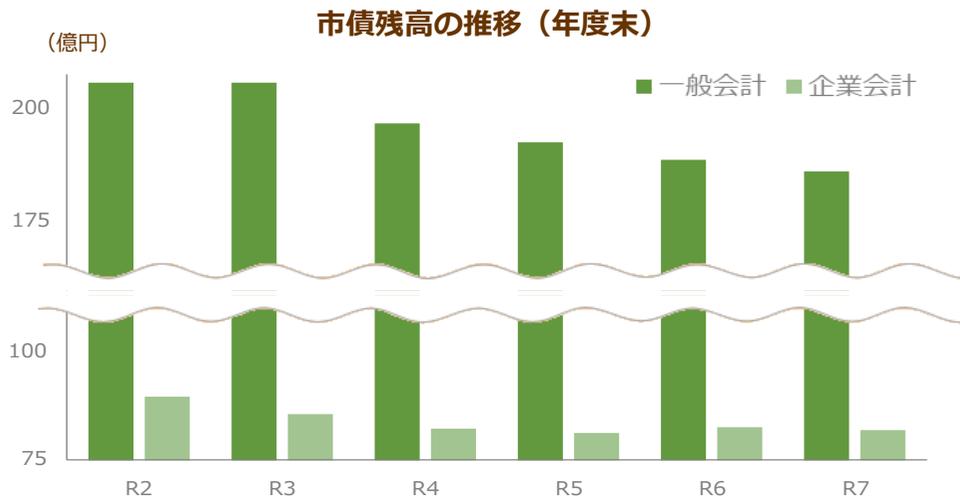
指定ごみ袋の売り上げの一部などを積み立て、新広域ごみ処理施設の整備等に充てる予定です。令和7年度は9,156万円を積み立てる一方で、新広域ごみ処理施設整備費用の負担金として1億4,800万円を取り崩す予定です。



## Q 借入金残高はどれくらいありますか？

### A 令和7年度末で243億4,135万円となる見込みです。

市の借入金（市債）の年度末の残高は、一般会計で180億5,362万円、企業会計が62億8,773万円、総額243億4,135万円となる見込みです。



※令和2年度～令和5年度は決算、令和6年度及び令和7年度は見込み額です。

## Q こんなにも借入金があっても大丈夫なの？

### A 財政指標では健全だと言えます。

#### 今後も新しい事業について実施の必要性を見極めます。

市債残高が将来的にどれくらい市の財政を圧迫するかを示す『将来負担比率』では、イエローカード（早期健全化基準）が350.0%のところ、市は令和5年度決算で将来負担がなく、健全だと言えます。今後も学校や道路の整備などの財源として借入れが必要なため、事業の必要性の見極めや借入れの工夫などで、将来の負担を抑えるよう努めます。

## Q なぜ借入金するの？

### A 財源が不足しているため、世代間負担を公平にするため、など いろいろな理由があります。

大規模事業の財源をその年度の収入だけで賄おうとすると、他の事業費を圧迫してしまいます。そのため借入金をして財源を補っています。また、道路や建物は、世代を越えて何十年も利用できます。借入をしなかった場合、整備した年に市税等で負担した世代と、その後負担なく利用する世代の間で不公平が生じてしまいます。借入金により将来の世代にも負担を分配し、世代間負担を公平にすることができます。

事業の財源として借りる以外に、本来は国から交付される地方交付税の一部を「臨時財政対策債」という市債で立て替える制度があり、その残高は令和7年度末で89億7,323万円となる見込みで、一般会計の残高の約5割を占めます。

## 令和7年度の主な事業

### 『住むまち いぬやまの魅力充実！予算』

#### 子育てで未来への投資

給食費無料化の拡充を行います	12 ページ
屋内型キッズスペースを整備します	13 ページ
子育て世帯に向けて、新たな訪問支援事業を開始します	14 ページ

#### 教育で子どもの成長支援

医療的ケア児の受け入れ体制を整えます	15 ページ
城東中学校整備の基本設計を進めます	16 ページ

#### みんなで支えあう高齢者と福祉

交通弱者のための総合的な公共交通に取り組みます	17 ページ
多言語対応の充実を図ります	18 ページ

#### 暮らしやすい犬山づくり

五郎丸東一丁目地区で新たなまちづくりを進めます	19 ページ
公園の再整備を進めていきます	20 ページ
多目的スポーツ広場とエナジーサポートアリーナを改修します	21 ページ

#### 命と暮らしを守る安心安全

家具等転倒防止器具の購入及び設置に係る補助金制度を新設します	22 ページ
救急車と消防ポンプ自動車を更新します	23 ページ



## 給食費無料化の拡充を行います

事業費 1億6,767万円

担当課

学校教育課

給食無料対象者を拡充し、新たに小学2年生の給食費を無料とします。

【歳入減分】

小学1年生	3,138万円
小学2年生	2,901万円
小学6年生	3,552万円
中学3年生	4,135万円
第3子以降	2,767万円

【歳出】

補助金	274万円
-----	-------



予算科目

歳入 21-5-2  
歳出 9-1-2

目名

雑入  
事務局費

特定財源

なし

事業の目的

令和4年4月から第3子以降の児童生徒、令和5年9月から小学6年生、中学3年生の児童生徒、令和6年4月から小学1年生の給食費無料化を実施していますが、令和7年4月から小学2年生を新たに対象に加え、子育て支援策を拡充します。

事業の内容

【無料となる対象者】

- ・市内在住の小学1年生、小学2年生、小学6年生、中学3年生、第3子以降の児童生徒
- ・市外の給食がある小中学校に通う児童生徒も対象となります。

市内小中学校も含め食物アレルギー等により給食が食べられず弁当等を持参する児童生徒には、給食費相当額を補助金として支給します。

【無料化の拡充】 令和4年4月～ 第3子以降

令和5年9月～ 小学6年生、中学3年生

令和6年4月～ 小学1年生

令和7年4月～ 小学2年生

事業の効果

給食費無料対象者の拡充をすることで、子育て世帯の経済的負担を軽減できます。

## 屋内型キッズスペースを整備します

事業費 4億7,464万円

担当課

子育て支援課

子どもたちが天候に左右されずに遊べる屋内の遊び場をヨシツヤ犬山店2階に整備します。



予算科目

3-2-1

目名

児童福祉総務費

特定財源

市債 4億1,420万円

事業の目的

子どもたちが天候に関わらず思いきり遊ぶことができる「屋内型キッズスペース」を、ヨシツヤ犬山店2階に、令和8年4月オープンを目指し整備します。

子どもたちの感性、創造力、思考力を養う場をつくることで、子どもの健やかな成長を後押しするとともに、保護者が安心して子どもを遊ばせることのできる場所を提供し、子育て支援の充実を図ります。

事業の内容

- 面積 1,500㎡（約454坪） ※株式会社義津屋から市が賃借
- 遊び場や授乳室のほか、気軽に育児相談ができる場所などを整備
- 設計・工事期間 令和7年4月～令和8年2月

※設計及び整備工事は「設計・施工・管理運営一括発注方式（DBO方式）」を採用し、管理運営は指定管理者制度により行います。公募型プロポーザル方式により最も優れた提案をした事業者を選定し発注します。

- 事業費の内訳（主なもの）

事業の効果

猛暑日の増加などで外で遊べない日が増えている状況にあっても、子どもたちが天候に関わらずのびのびと体を動かし、様々な遊びを創造でき、また、子どもだけでなく大人もワクワクする屋内型キッズスペースを整備・運営することで、子育て世帯への支援を充実し、未来への投資として子どもの健やかな成長を後押しします。

## 子育て世帯に向けて、新たな訪問支援事業を開始します

事業費

86万円

担当課

子育て支援課

家事や子育てに不安や負担を抱える子育て家庭等を、支援員が訪問し、その不安や悩みを傾聴し、家事や育児を支援します。



予算科目

3-2-1

目名

児童福祉総務費

特定財源

国庫補助金	29万円
県補助金	29万円

事業の目的

様々な事情で、家事や育児に対して不安や負担を抱える子育て家庭は、市内にも一定数が存在します。それらの家庭や養育環境を整えることで、子育てに係る負担や不安を軽減します。

事業の内容

家事や育児に対して不安や負担を抱える子育て家庭に対し、支援員が訪問し、家事や育児を支援します。支援は、保護者に寄り添い、協働や傾聴、助言によって行います。

事業の効果

家事や育児に対して不安や負担を抱える子育て家庭における問題を軽減、解消することで、子どもが適切に養育される環境が整います。

## 医療的ケア児の受け入れ体制を整えます

事業費

552万円

担当課

学校教育課

医療的ケア児に対して看護師を配置し、学校で十分な教育が受けられるよう受け入れ体制を整えます。



予算科目

9-2-1

目名

学校管理費（小学校費）

特定財源

国庫補助金 180万円

事業の目的

医療的ケアを必要とする児童が小学校に入学するにあたり、「医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律」及び「犬山市立小中学校医療的ケア実施要綱」に基づき、犬山市医療的ケア支援員（看護師）を配置し、学校で十分な教育が受けられるよう受け入れ体制を整えます。

事業の内容

教室環境整備のための消耗品及び備品の購入、看護師派遣委託業務を行います。看護師は4名程度をローテーション勤務とし、児童が学校にいる間は常に付き添うことができる体制を整え、安全に学校生活を送ることができるようにします。

- ・医療的ケア児看護師派遣事業委託料 539万円（国庫補助金 180万円）
- ・物品購入 13万円（消耗品費 5万円、備品購入費 8万円）

事業の効果

安全かつ適切に医療的ケア児を学校に受け入れることができます。

## 城東中学校整備の基本設計を進めます

事業費 4, 137万円 担当課 学校教育課

城東中学校の整備に向けた基本設計を実施します。



予算科目

9-3-3

目名

学校整備費（中学校費）

特定財源

ふるさと犬山応援基金繰入金 4, 137万円

事業の目的

犬山市小中学校施設の長寿命化計画に基づき、城東中学校の整備を行い、教育環境の充実を図ります。  
犬山市立城東中学校改修基本構想をもとに整備の全体計画・スケジュール・概算費用を算出する基本設計を実施します。

事業の内容

令和7年度予算 基本設計委託料 4, 137万円

【今後の年度計画】

令和6年度 検討委員会発足、基本構想策定、基本設計プロポーザル

令和7年度 基本設計業務の実施

令和8年度 実施設計業務の実施

令和9年度～ 整備工事

事業の効果

犬山市の「学びの学校建築」を基本にして、子どもの安全・安心、環境配慮、ICT等の現代的な教育課題、将来的な課題（生徒数の現象による空き教室の利用等）、城東地区の特性を考慮した学校を目指すことにより、城東地区の子どもたち、住民にとって利用しやすい学校施設を整備します。

## 交通弱者のための総合的な公共交通に取り組みます

事業費	バス再編	558万円	担当課	防災交通課
	ライドシェア	389万円		高齢者支援課
	タクシー助成・高齢者	1,843万円		障害者支援課
	タクシー助成・障害者	486万円		

わん丸君バスの現状を維持し、段階的にタクシー助成制度の拡充とタクシーチケットの導入を進めます。また、新たな公共交通手段の調査・研究として、公共ライドシェアを引き続き運行します。



### 予算科目

(バス再編) 2-1-11  
 (ライドシェア) 2-1-11  
 (タクシー助成・高齢者) 3-1-3  
 (タクシー助成・障害者) 3-1-2

### 目名

(バス再編) 交通防犯対策費  
 (ライドシェア) 交通防犯対策費  
 (タクシー助成・高齢者) 老人福祉費  
 (タクシー助成・障害者) 障害者福祉費

### 特定財源

なし

### 事業の目的

交通空白地に居住する人、高齢者、障害者、自動車を運転しない人等に対して、買い物、通院などの日常生活や社会生活における公共交通による移動手段を確保することで、生活を支えます。また、どのような公共交通が適するのか、調査・研究をしていきます。

### 事業の内容

- 令和8年12月のわん丸君バスの再編に向けて、路線やダイヤの見直し案を作成します。
- 公共交通の調査・研究として、岐阜バス「明治村線」の一部路線（犬山駅東口～長者町団地南）において、臨時的な措置として、交通空白時間帯（6:00～7:30、18:00～19:30）に、定時定路線の事業者協力型自家用有償運送を行います。
- タクシー助成（高齢者・障害者）事業の拡充の一環として、これまでの基本料金助成に加え、利用料金の助成を開始します。

【R6 対象拡充】 75歳～84歳のうち住民税非課税世帯で運転免許証を持たない方

※拡充済 基本料金助成×28枚

【R7 新規】 基本料金助成に加え、基本料金以外にも使用できるチケットを交付

85歳以上で住民税非課税世帯の方

年間12,000円（500円×24枚）

障害者（身体1級、療育A判定、精神1級）で住民税非課税世帯の方

年間12,000円（500円×24枚）

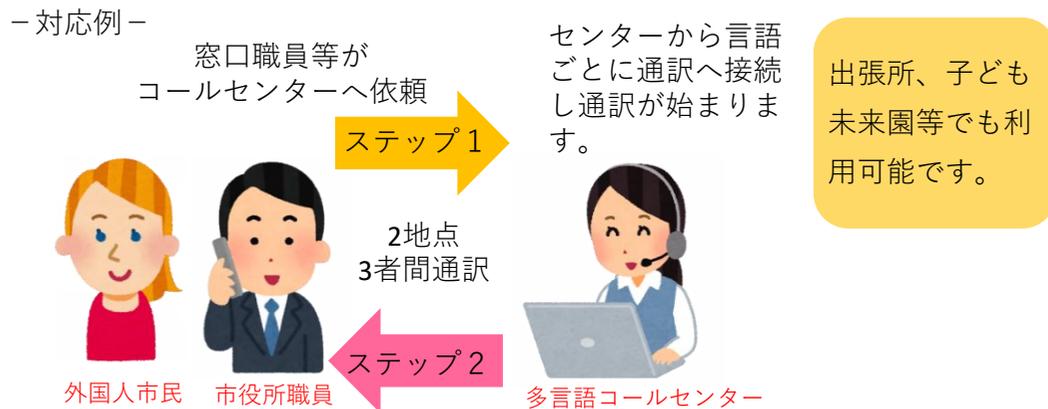
### 事業の効果

わん丸君バスを継続的に運行し、わん丸君バスでカバーできない部分の移動をタクシーが担うことで、高齢者などの交通弱者の移動手段が確保され、医療機関や商業施設等への外出機会が増加し、豊かな市民生活の維持向上に繋がります。

## 多言語対応の充実を図ります

事業費 282万円 担当課 多様性社会推進課

市民サービスの多言語対応の環境を整えます。



予算科目 6-2-2 目名 友好交流費

特定財源 なし

### 事業の目的

日本語の理解が難しい外国人市民が来庁した際に、市職員と円滑なコミュニケーションを図り、外国人市民の不安を軽減します。日本人市民と同様に行政サービスにアクセスできるよう、多言語でのサポート体制を整えます。

### 事業の内容

○多言語窓口電話通訳業務：109万円

通訳者の確保が困難な希少言語を含む20言語程度（ベトナム語、タガログ語、ウルドゥー語、ベンガル語等）に対応し、行政用語に対応可能な電話通訳サービスを導入

○多言語情報誌発送業務：173万円

6言語（ベトナム語、中国語、タガログ語、ポルトガル語、スペイン語、英語）+やさしい日本語で作成した情報誌を外国人市民世帯（約1,700世帯）に年2回直送

### 事業の効果

多言語コールセンターを設置することにより、外国人市民の増加に伴う多様な言語ニーズに対応し、迅速な行政サービスを提供できます。

犬山市の広報等を読めない外国人市民に対して、得たい情報を直送することにより、必要な情報にアクセスできるようになります。

## 五郎丸東一丁目地区で新たなまちづくりを進めます

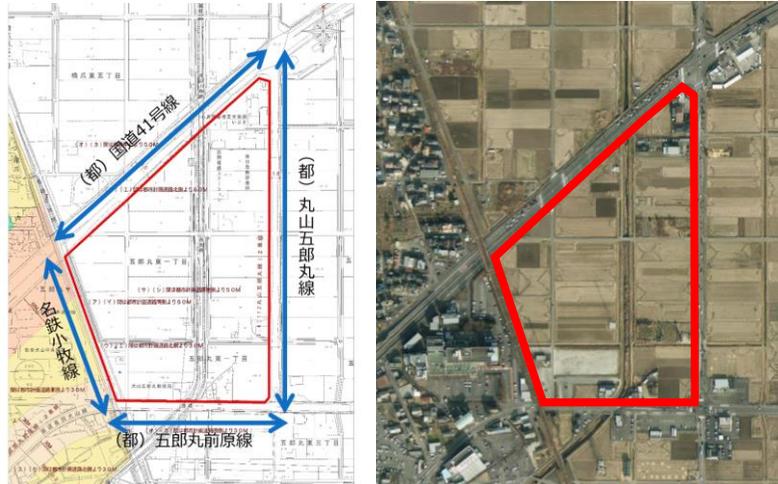
事業費

991万円

所管課

都市計画課

土地区画整理事業による新たなまちづくりのため、発起人会の設立を目指します。



赤枠内：事業実施想定地区

予算科目

7-4-1

目名

都市計画総務費

特定財源

ふるさと犬山応援基金繰入金 985万円

事業の目的

商業立地の促進と定住人口の確保など市の課題解決を目的として、市街化区域への編入による市街地の形成を目指して、地域の皆様と土地区画整理事業の検討を進めていきます。

事業の内容

これまでに、土地所有者アンケート・企業アンケート・地権者勉強会3回を実施、有志による準備委員会も発足し5回開催するなど積極的に進めてきました。また、委託業務としてまちづくり基本調査業務を行っています。

令和7年度は、準備委員会を主体に、地権者から仮同意を取得し、発起人会の結成を目指します。また、事業化検討パートナー（民間事業者）の募集に向けた検討を行います。

市はこれらの取り組みを促進するための支援業務を行います。

事業の効果

この事業の実施により新たな定住人口の創出のほか、生活サービス施設の集積を図ることができます。

## 公園の再整備を進めていきます

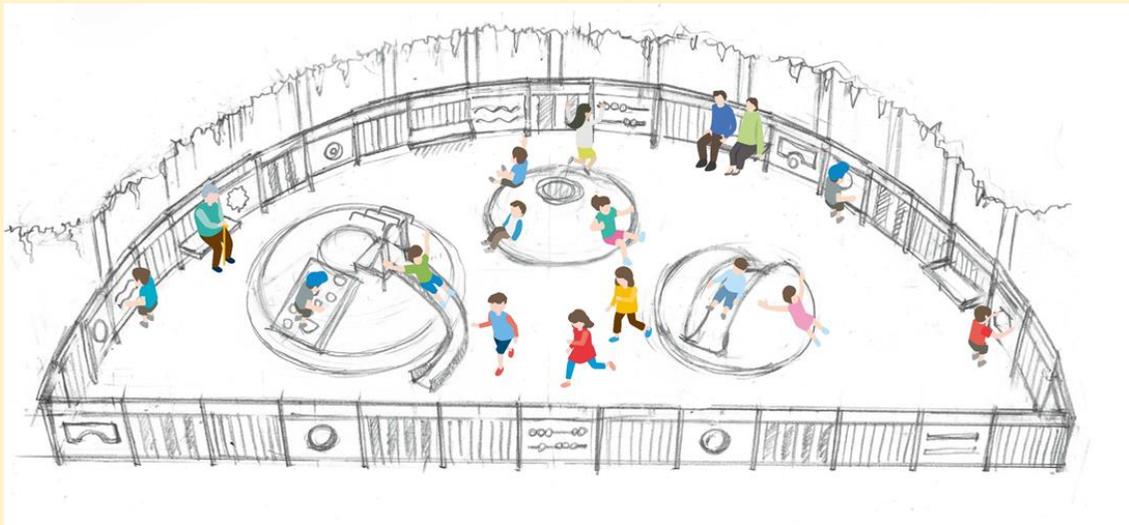
事業費

3,610万円

所管課

土木管理課

犬山ひばりヶ丘公園内にキッズスペースを設置し、小規模公園は再整備に向けてモデルケースとなる公園を整備します。



予算科目

7-4-6

目名

公園管理費

特定財源

市債 3,040万円

事業の目的

主要公園の整備については、令和5年度に実施した公園に関する市民アンケート結果を踏まえ、市民の希望する整備を実施することにより、子育てしやすい環境作りの一環となります。

また、小規模公園（街区公園、ちびっこ広場等）についても、モデルケースとなる3公園を選定し、同じくアンケート結果に基づき整備並びに整備後の検証を行い、地域の交流の場となるような公園整備を目指します。

事業の内容

○犬山ひばりヶ丘公園にキッズスペースを設置します。

工事費：2,250万円

○市内の小規模公園のうち3公園を再整備します。また再整備の検証を行います。

工事費：1,360万円

事業の効果

本事業は令和5年度に実施した市民アンケート調査の回答に基づいた施策のため、市民ニーズを反映した事業を実施することにより、市民満足度が向上します。

小規模公園についてはモデルケースとなる公園の整備後に検証を行うことにより、地域の特性やニーズに合わせ地域の皆さまが利用しやすい公園再整備ができるようになります。

合わせて、屋内遊戯施設の完成と同時期に事業化することにより、子育てしやすい環境作り、移住・定住促進に寄与します。

## 多目的スポーツ広場とエナジーサポートアリーナを改修します

事業費 2億1,439万円 所管課 スポーツ交流課

安心・安全に施設を利用していただくため、多目的スポーツ広場とエナジーサポートアリーナの改修工事を行います。



予算科目 9-6-3 目名 体育施設費

特定財源 市債 1億6,070万円  
 スポーツ振興基金繰入金 4,154万円

### 事業の目的

開館後10年が経過し経年劣化により傷みが激しい羽黒中央公園の多目的スポーツ広場の人工芝の張替工事とエナジーサポートアリーナのフロア改修を実施し、利用者に安心・安全・快適に利用していただける施設環境を整えます。

### 事業の内容

- ・多目的スポーツ広場人工芝張替工事 1億9,800万円  
 劣化した多目的スポーツ広場の人工芝の全面張替えを実施
- ・エナジーサポートアリーナメインアリーナフロア補修工事 1,639万円  
 傷みが激しい箇所のフローリングの張替えとフロア全面の塗装を実施

### 事業の効果

利用率が80%を超え、多くの利用者に利用していただいている多目的スポーツ広場とエナジーサポートアリーナのメインアリーナを改修することにより、市民がより安全・安心・快適に利用いただくことができ、より多くの市民が身近にスポーツに親しめる環境づくりが進みます。

## 家具等転倒防止器具の購入及び設置に係る補助金制度を新設します

事業費

25万円

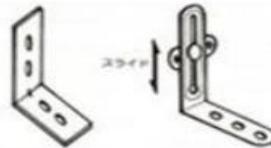
担当課

防災交通課

地震発生時における家具等の転倒による被害を軽減するため、家具等の転倒を防止する器具の購入及び設置の費用を補助します。



L字金物



チェーン及びベルト



予算科目

2-1-6

目名

災害対策費

特定財源

なし

事業の目的

平成24年から実施している家具等転倒防止器具取付事業では、高齢者のみや障害者等がいる世帯を対象としています。これら以外のすべての世帯における地震対策を進めるため、令和7年度から新たに器具の購入及び設置に係る費用を補助します。

事業の内容

家具等転倒防止器具の購入及び設置に係る費用を補助します。

<対象者> 市内に居住する世帯（1世帯に1回限り）

※過去に家具等転倒防止器具取付事業を実施した世帯は対象外

<補助金額> 1/2補助 上限5,000円

事業の効果

市内の個人住宅の地震対策を進め、地震発生時における家具等の転倒による被害を軽減し、被害の軽減を図ります。

## 救急車と消防ポンプ自動車を更新します

事業費

6, 522万円

担当課

消防総務課

老朽化した消防署の救急車と消防団の消防ポンプ自動車を更新します。



予算科目

8-1-3

目名

消防施設費

特定財源

国庫補助金	1, 975万円
市債	3, 850万円

事業の目的

老朽化した救急自動車と救命処置資機材を更新し、救急体制の充実を図ります。  
また、老朽化した消防団の消防ポンプ自動車を普通自動車免許しか持たない消防団員でも運転できる消防ポンプ自動車に更新し、消防団体制の充実を図ります。

事業の内容

消防署（本署）配備の救急自動車1台と気道確保用資機材やAEDなど高度な救命処置ができる資機材を、防衛省の民生安定施設整備国庫補助金を活用して更新します。

消防団（第1分団）配備の消防ポンプ自動車1台を車両総重量3.5t未満の普通自動車免許で運転できる車両に更新します。

事業の効果

最新の救急車両と救命処置資機材の導入により円滑な救急活動と迅速な医療機関への搬送が期待できます。

若い世代の消防団員でも消防ポンプ自動車を運転できるようになり、消防団員の入団促進にも繋がります。

# わかりやすい予算書

## 犬山市の令和7年度予算



令和7年

犬山市経営部経営改善課

〒484-8501 愛知県犬山市大字犬山字東畑36

電話 (0568) 44-0313

FAX (0568) 44-0360

犬山市の財政

